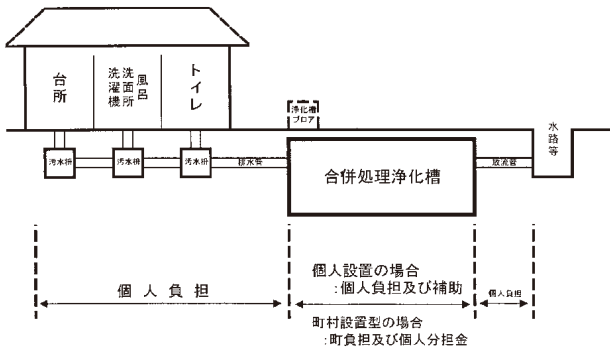


## 合併浄化槽維持費補助 年1万2千円

当町のトイレ水洗化・下水処理については、

- ・集合処理方式
- ・公共下水道
- ・農業集落排水（林業集落排水を含む）
- ・個別処理方式



■ 合併処理浄化槽設置費用負担区分

が、旧各町村の方式の違いから、集合処理方式、合併処理方式とも個人負担の範囲

困、金額が違っていました。

しかし、合併後は、町民負担の公平公正の観点から同じ負担（地域、方式の違いをなくしたもの）に調整しなければならなくなりました。昨年12月議会において、「今後どのようにされるのか、町で検討すること」が求められました。

3月議会において、町より、庁内に検討委員会を設置し検討した結果が報告されました。

集合処理方式は、多額な費用と長い期間がかかり、又住宅が散在する地域は、下水本管延長が長く投資効率が低く、現在でも不適である。現在の集合処理地域以外の未整備地域は、初期投資費用が少なく早期に水洗化できる合併浄化槽整備（個別処理方式）によりお

こなう。

集合処理方式と合併処理方式の個人負担の調整については、下水道（集合処理）接続世帯と合併浄化槽（個別浄化槽）設置費用を（合併槽の耐用年数30年として）比較検討した結果、その差額は年間1万円強合併槽設置世帯のほうが多くなった。その差額1万2千円を、合併浄化槽設置世帯に補助金として30年間毎年

交付する。

（町村設置型浄化槽を除く）

この案は、平成4年から旧各町村毎において施工された工事費、維持管理費の資料とともに議会全員協議会において説明され、協議の結果了承され、20年度から実施されることになりました。

## 編集後記

多くの人たちが、希望を叶えるための新たな旅立ち、新スタートを切った4月も既に去り、早いもので季節は青葉若葉へと移り変わっております。

特に樹木にとっては、長く厳しい冬の寒風に耐えての待ちに待った躍動の季節の到来です。

編集委員会は、住民の皆さんに正確、簡潔で分かりやすく、より住民の関心と理解が得られる広報活動をおこなってまいりますので、皆様のご意見をお待ちいたしております。（古畑）

- 委員長 千村 孝男
- 副委員長 古畑 富省
- 委員 向井 忠
- 委員 武居 博美
- 委員 羽本 力
- 委員 松井 淳一

## 町債繰上償還による 財政健全化

町債（借入金）の返済時期を早める繰上償還は、町財政の健全化と実質公債費比率（収入に占める借入金返済額の割合を示す指標）の引下げに極めて有効な手段です。

18・19年度で借換えなしの繰上償還を4億9千万円、低利への借換えを1億5千

万円実施したことにより、20年度一般会計公債費が7千万円軽減されるなどその効果が現れています。20年度でさらに借換えなしの繰上償還を1億3千万円、借換えを2億1千万円おこなう予定です。この結果、20年度決算における実質公債費比率は20・4%となる見込みです。今後も繰上償還と町債の新規発行抑制を続け、23年度には国の基準である18%とする計画です。